

105-310

問題文

この介入研究において、レボチロキシナトリウム錠の服薬アドヒアランスを評価する方法として、適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 薬剤服用歴から、調剤した薬剤種類数を調べる。
2. 患者に持参してもらった残薬数から服薬率を算出する。
3. 患者から飲み忘れの有無を聞き取る。
4. 処方した医師に処方意図を確認する。
5. 併用薬との相互作用の有無を調べる。

解答

問310：1, 3問311：2問312：2, 5問313：2, 3

解説

問310

レボチロキシナトリウムを中断すると、甲状腺機能低下症の症状が現れます。脈拍はゆっくりになり、代謝が下がり、熱産生が減少します。選択肢を見ると「徐脈」「冷感」が妥当と考えられます。

以上より、正解は 1,3 です。

問311

患者は「甲状腺治療薬長期処方の患者」です。「服薬アドヒアランスの悪い患者」では漠然としすぎています。正解は 1～3 です。

C が Comparison：比較 なので、比較するのは「電話フォローアップ実施なし」と考えられます。

以上より、正解は 2 です。

問312

選択肢 1 ですが

電話フォローアップを希望するか否かという患者の希望を優先して対象患者を分けると、そもそもの服薬遵守意識の高さがあるからフォローアップを希望し、その結果として服薬アドヒアランス向上が見られるのかもしれませんが。希望するかもしれないがランダムであり、かつ、電話フォローアップの有無によってどう結果が変わるか というデザインが望ましいと考えられます。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 は妥当な記述です。

選択肢 3 ですが

製薬会社から資金提供を受けたのであれば、利益相反の開示が必要と考えられます。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 ですが

十分な説明、理解の上での参加同意が必要です。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 は妥当な記述です。

以上より、正解は 2,5 です。

問313

選択肢 1 ですが

調剤した薬剤「種類」がわかって、服薬アドヒアランスの評価はできません。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2,3 は妥当な記述です。

180錠 調剤し、1 日 1 錠服用で、6 ヶ月後に残薬が 18 であれば、90% 服薬といった形で算出できます。また定期的に「飲み忘れはありましたか？」と聞いても、評価することができます。

選択肢 4,5 ですが

処方意図を確認したり、相互作用の有無を確認しても、きっちり飲んでいるかという服薬アドヒアランスの評価はできません。よって、選択肢 4,5 は誤りです。

以上より、正解は 2,3 です。